

R8年度 生涯学習講座登録一覧

番号	部局等名	職名	氏名	テーマ及び講演内容			対象者	講演・講義可能時期 (提供可能時期)	必要とする条件、その他事項
				学問分野	テーマ	内容			
2	国際ナショナルオフィス	特命准教授	滝川 祐子	1. 人文科学	日本の魚の学名: 鎖国時代の国際関係と西欧人による博物学的関心	鎖国体制のなか、18世紀末から19世紀初めにかけて、西欧での博物学の進展にともない、日本の生物相にも高い関心が示されました。魚類の研究史と学名、世界史、日本史とのかかりをお話します。	高校生以上	随時(応相談)	パワーポイントのスライドを写せる設備
26	医学部	教授	橋本 忠行	1. 人文科学	こころの理解と支援	臨床心理学ではこころの理解について「心理アセスメント」という言葉を使います。問題や症状の側面だけではなく、長所や資質のような肯定的側面にも注意を払うべきだという意味が込められています。その実際を体験し、支援につながる方法を考えます。	高校生、地域の市民の方々	応相談	依頼に合わせて調整します
27	医学部	教授	松本 啓子	11. 保健衛生学	在宅での暮らしを支えるケア	地域包括ケアシステム構想の進む中、疾患や障害を持ちながら在宅で療養する方は多い。その方々の思いに着目したうえで、在宅療養者とその家族の暮らしを支えるケアについて考える。	一般	応相談	パソコン・プロジェクターが使用できる環境
50	医学部	准教授	宮武 伸行	12. 医学	楽しく学んで、楽しく実践、やさしい健康講座	1) 糖尿病のはなし、2) 運動のはなし、3) 食事のはなし、4) こころのはなし、5) 尿検査、便検査のはなし、6) 健康診断のはなしの中から選択	中学生以上	応相談	
70	医学部	准教授	宮下 武憲	12. 医学	難聴・耳鳴	認知症の最大リスクファクターでもある難聴について、難聴の種類とそれぞれの対応、補聴についてわかりやすく解説します。また、難聴に伴うことの多い耳鳴について、その原因と家庭でできる耳鳴の最新治療等を解説します。	一般市民	応相談	プロジェクターとスクリーン、パソコンからの音声を再生できる環境
71	医学部	准教授	宮下 武憲	12. 医学	人工内耳の現在とその可能性	現在では一般医療として定着している人工内耳について、適応と効果等わかりやすく解説します。	一般市民	応相談	プロジェクターとスクリーン(パソコンが使用できる環境)
72	医学部	准教授	宮下 武憲	12. 医学	めまいのはなし	めまいと自分でできるめまいのリハビリについて解説します。	一般市民	応相談	プロジェクターとスクリーン(パソコンが使用できる環境)
73	医学部	准教授	宮下 武憲	12. 医学	聞こえの仕組みと難聴について	聞こえの仕組みと難聴について、わかりやすく解説します。	主に、難聴のお子さんをもつ保護者、難聴のお子さんに関わる保育士、教師等	応相談	プロジェクターとスクリーン(パソコンが使用できる環境)
74	医学部	准教授	宮下 武憲	12. 医学	補聴器・人工内耳・補聴援助システム	補聴器・人工内耳・補聴援助システムについてわかりやすく解説します。	主に、難聴のお子さんをもつ保護者、難聴のお子さんに関わる保育士、教師等	応相談	プロジェクターとスクリーン(パソコンが使用できる環境)
75	医学部	准教授	宮下 武憲	12. 医学	遺伝性難聴	遺伝性難聴についてわかりやすく解説します。	主に、難聴のお子さんをもつ保護者、難聴のお子さんに関わる保育士、教師等	応相談	プロジェクターとスクリーン(パソコンが使用できる環境)
76	医学部	准教授	宮下 武憲	12. 医学	難聴と耳の病気について	難聴と耳の病気についてわかりやすく解説します。	主に保育園、幼稚園の保育士等、教師等教育に関わる職員等	応相談	プロジェクターとスクリーン(パソコンが使用できる環境)

R8年度 生涯学習講座登録一覧

番号	部局等名	職名	氏名	テーマ及び講演内容			対象者	講演・講義可能時期 (提供可能時期)	必要とする条件、その他事項
				学問分野	テーマ	内容			
82	学生支援センター	准教授	大沼 泰枝	7. 教員養成・教育学	大学における合理的配慮	障害のある学生が大学でどのようなサポートを受けているか、支援の実際についてお話しします	教育関係者、保護者、高校生	応相談	
85	教育学部	教授	宮前 淳子	1. 人文科学	教育臨床における行動療法の適用	教育臨床において行動療法をどのように適用することができるかについて検討する	一般、教育関係		
115	経済学部	准教授	山口 尚美	4. 経済・経営・商学	企業倫理を考える	社会に対して責任ある企業行動とはいかなるものかを多面的に考えていきます。	一般	応相談	
119	経済学部	准教授	二ツ山 達朗	10. 総合科学	観光社会学からまなぶ「地域」と「文化」	本講義では「地域」や「文化」といった当たり前のように使われてきた概念を、観光学や社会学で議論されてきた事例と理論をもとにし、再考したいと思います。人数によってはワークショップなども取り入れたいと思います。	一般、企業、自治体、高校生、中学生	応相談	パワーポイントが使用できる環境 ワークショップをするには20人以下が 好ましい
146	地域マネジメント 研究科	教授	三好 秀和	4. 経済・経営・商学	会社に入って働くということは君たちにとってどんな意義があるのか	なぜ勉強するんだろう。そして、志望校に合格して会社に入るのだろう。日本には上場会社だけで4000社あります。統計局の経済センサス(令和3年度)では178万社あるのです。この中で働くことの意義を考えます。	中学、高校	応相談	講義内容に関心がある
154	農学部	教授	田淵 光昭	17. 農・水産学	微生物とヒトとの関わり-発酵食品、病気、バイオテクノロジー-	講演では、微生物の基礎、応用、微生物による病気そして最新のバイオテクノロジー(ゲノム編集)に至るまで幅広く人類と微生物との関わりについてお話ししたい。	中学生、高校生、一般	応相談	
163	農学部	教授	森本 兼司	17. 農・水産学	希少糖を通してみる糖の世界	日常的に摂取しているブドウ糖や果糖と希少糖の生産方法を説明しつつ、両者の違いを紹介します。話題の中心は糖類や酵素を中心とする生物と化学です。糖質はエネルギー源として欠かせないものですが、取り過ぎはメタボリックシンドロームの原因になります。糖質を制限するために人工甘味料が多用されていますが、果たしてそれで健康を維持できるのかについても概説します。	高校生から一般	要相談(基本的に火・水・木曜日)	